

令和6年度

「運営に関する計画」

大阪市立野中小学校

令和6年4月

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

本校は、児童の暴力的な行動も少なく、大きないじめの事例もなく、学校全体として落ち着いた状態である。

しかし、数年間の新型コロナウイルス感染症の拡大という問題が出てきたことをきっかけに、不登校児童の登校日数は、減少している。不登校児童は、家庭的な要因等、難しい問題を抱え、解消については困難な点も多いが、今年度も安心して登校できる状態を学校全体として維持しながら、区の子どもサポートネットやスクールカウンセラーなど、関係諸機関と連携しながら、様々な方面からの取り組みを行っていく必要がある。

昨年度は、校内アンケートの「学校は楽しいですか」では、肯定的な回答が、90%以上あった学年も少なくなかった。学年によってばらつきはあったが、今年度も子どもたちが「学校が楽しい」と感じられるように取り組んでいくことが大切である。

また、「学校のきまりを守っていますか」のアンケート結果では、平均して肯定的回答が80%以上ではあったが、下回る学年もあった。これからも継続的に規範意識を高めていく必要があると考える。

また、本校の特徴として、自己肯定感、自尊心が低い傾向が何年も続いていたことがあり、改善に向けて力を入れて取り組んでいる。昨年度の2回目の校内アンケートでは、「自分にはよいところがあると思う」という項目については肯定的な回答が平均して75%を超え、(小学校学力経年調査では、平均72%)昨年度も改善傾向を示している。本校の課題である自尊心の向上を、今年度についても、いろいろな機会や場を工夫し、児童に多くの成就感、達成感を味わわせることで実現していくことを目標としたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

本校は、数年に渡り、全教科の学力の基礎ともいえる国語科の学力向上モデル校として、国語科の研究に取り組んできた実績や、算数で習熟度少人数体制の指導に力を入れ取り組んでいることで、全国学力学習状況調査や経年調査においても、全国や大阪市の平均を上回る結果を得られる教科も少なくなかった。しかし、学年、また、個人によって学力に大きな差があり、個に応じた指導・支援が必要である。

また、主体的・対話的で深い学びを進めるために、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする活動を行っていく必要がある。

体力に関しては、昨年度は、5年生男子の体力合計点は、全国平均より2.52ポイント上回り、大阪市よりも3.98ポイント上回っており、種目別に見ても、大阪市の平均を全て上回っていた。女子の体力合計点は、大阪市の平均より0.66ポイント上回っているものの、全国平均より1.61ポイント下回っていた。昨年度よい結果であった男子のように、運動が好きであり、進んで運動する姿勢を育てることが重要であると考える。楽しく運動する機会を与え、体力の向上を図っていく取り組みを行っていく必要がある。

【学びを支える教育環境の充実】

一人一台端末を毎日活用し、授業での有効活用を行うようにしている。今年度も、個別最適な学びと協同的な学びを実現するために、さらなるICTの効果的な活用についての取り組みを進めていく。

学校図書館に関しては、図書館司書との連携をとりながら、図書館の活性化する取り組みを行ってきた。今年度も学校図書館を有効活用し、様々な学習における利活用の促進を行っていきたい。

また、コロナ禍も終わり、昨年度は、生涯学習やはぐくみネットを中心に児童の健全育成かかわる取り組みをしていただくことができた。今年度は、保護者、地域の方々に関わっていただく学校行事を丁寧に検討し、より適切な時期や内容で実施したいと考えている。また、情報を保護者や地域に発信し、学校理解を促進したいと考えている。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的な回答を80%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の校内調査の暴力行為を複数回行う児童の数を0にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校のきまり守っていますか」の肯定的回答をどの学年も88%以上にする。
- 令和7年度に新たに不登校になる児童の割合を0にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査及び校内アンケートの「学校は楽しいですか」「すすんでいさつしていますか」の肯定的な回答を90%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を33%以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- 令和7年度の全国体力、運動習慣調査において、各種目の対全国比を1.00以上にする。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65%以上にする。
- 感染症の予防について理解させ、自分の健康に关心を持つ児童を育成する。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業において学習者用端末を毎日使用し、ICTの効果的な活用を図る。
- ゆとりの日を週に1回設定し、教員の時間外勤務の削減に取り組む。
- 令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和7年度の校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えよう努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を85%以上にする。

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査及び校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 新たに不登校になる児童の割合を0にする。
- 小学校学力経年調査及び校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 小学校学力経年調査及び校内調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 72%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を60%以上にする。
- 感染症の予防について理解させ、自分の健康に关心を持つ児童を育成する。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70% 以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く)
- ゆとりの日を週に1回設定する。また、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えようと努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を 82%以上にする。

(様式例 2)

大阪市立野中小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査及び校内調査における「自分にはよいところがあると思いま すか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いま すか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○新たに不登校になる児童の割合を 0 にする。</p> <p>○小学校学力経年調査及び校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対 して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査及び校内調査における「学校のきまりを守っていますか」に対 して、肯定的に回答する児童の割合をどの学年も 85%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対 して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童が安心して落ち着いて学校生活をおくれるよう規範意識を高める。</p> <p>()</p> <p>指標</p> <p>○児童の規範意識を高める機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に 1 回の「ふり返り週間 2 ウィーク」を設ける。 ・年に 2 回の児童会による「あいさつ運動」の取り組みを行う。 ・毎回の児童朝会で啓発する。 ・看護当番によって登校時と休み時間に啓発する。 ・年に 3 回のアンケートで規範意識の高まりを調べる。 <p>(あいさつのレベルアップに取り組もう・廊下階段は歩こう)</p> <p>○いじめに対する取り組みを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ相談機能を活用し、いじめ対策委員会で情報を共有し対応する。 ・いじめアンケートを学期に 1 回実施する。 ・いじめ防止強調週間を設け、互いの良さを認め合い、いじめを未然に防ぐ。 <p>○不登校児童に対して組織的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者と密に連絡を取り、連絡記録簿に記入し、職員間で情報共有できるよう にする。 ・生活指導部会や不登校対策委員会を開き、早期発見に努めるとともに家庭ごと に応じた対応を学校全体で共有し取り組む。 	

取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】

児童一人一人が自分に自信を持ち、人の役に立ちたいと思うことで前向きに取り組もうとする意識を育てる。 ()

指標

○道徳科の教科書の内容項目に学習重点項目を設ける。

- ・「主として人との関わりに関するここと」の「親切・思いやり」、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関するここと」の「生命の尊さ」を重点項目にする。
- ・重点項目の学習後、振り返りを書かせ、児童の意識の高まりを調べる。
- ・生活ふり返り週間や学校生活アンケートで、児童の態度の変容を確認しながら取り組む。

○学年の児童の実態に応じて、児童の自信に繋げられる取り組みを行う。

- ・自分のよさを知る取り組みや「いじめについて考える日」及び「いのちについて考える日」の取り組みを行い、自分も相手も互いに大切にすることを学ぶ。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

【取組内容】①について

【取組内容】②について

次年度への改善点

【目標設定】について

【取組内容】①について

【取組内容】②について

(様式例2)

(様大阪市立野中小学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「英語の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を60%以上にする</p> <p>○感染症の予防について理解させ、自分の健康に関心を持つ児童を育成する。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、個に応じた指導の充実を図る。</p> <p>()</p>	進捗状況
<p>指標</p> <p>○習熟度別の学習を実施し、発展活用を重視するコース、基礎基本の定着を重視するコースなど、児童が自分に合ったコースを選べるようにして学力の定着を図る。</p> <p>○教員の授業力を高めるために計画的に研修を進めていく。また、若手研修を学期に1回実施し、指導力向上を図る。若手研修については年数に関係なく希望者は参加できるようにする。</p> <p>○意見交流を活発に行う。 ・ペア、グループ、クラスで意見交流を1日に1回は取り組み、考えを深めたり広げたりできるようにする。</p> <p>○外国語活動や外国語の教材の充実を図り、授業で活用することで、英語に慣れ親しむことができるようとする。</p>	

取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】

児童が進んで楽しく運動できるよう、授業や遊び時間等の工夫を行う。また、自分の健康に関心を持つ児童を育成する。()

指標

- 児童が運動に親しむ機会を増やすために、委員会による遊具の使い方や遊びの紹介や、かけ足タイム・なわとびタイムなど、年間を通して継続的に取り組む。
- 春の体力テストで良くなかった項目を、向上させる手立てを考えて実践し、秋に再度体力テストを行い、得点が向上するようにする。
- 運動の楽しさを味わう授業の構築・指導法を工夫する。
 - ・ICT機器を有効的に使う。
 - ・新学習指導要領にあわせた学習カードの活用
- 清潔しらべを毎週1回実施し、感染予防の意識をもつことができるようとする。

取組内容()

指標

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

【取組内容】①について

【取組内容】②について

次年度への改善点

【目標設定】について

【取組内容】①について

【取組内容】②について

(様式例 2)

大阪市立野中小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	進捗状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70% 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く） ○ ゆとりの日を週に 1 回設定する。また、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 70% 以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。 ○ 校内アンケート（保護者向け）の「学校は教育活動や学校行事についてわかりやすく伝えようと努力している」「学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校に来られるように努めている」の肯定的な回答を 82% 以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 6 教育DX】</p> <p>I C T を効果的に活用し、児童の学習意欲を高め、個別最適な学びおよび協同的な学びを進めていく工夫をする。（ ）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業で週 4 日以上学習者用端末を活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じて教科書の問題を端末で解答させたり、デジタルドリルで問題に取り組ませたりして、学力の定着を図る。 ○ 指導者用デジタル教科書を活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型テレビに映し、視覚的にもわかりやすくして学力の定着を図る。 ○ 教員の I C T 研修を実施し、活用能力を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修日を学期に 1 回開く。 ・ ショート研修によって教員の I C T 活用能力の向上を図る。 <p>取組内容② 【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>学びの場として、学校図書館を活性化し、授業での様々な学習における利活用を促進する。（ ）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館司書との連携により、図書資料をデータ化し一人一台端末に保存することで児童が調べ学習をより活発にできるようとする。 ○ 毎日昼休みに図書委員会による図書館開放をすることで、読書をする環境を整え、物語文や説明文などの本を読む機会を増やす。 ○ 年に 1 回読書週間を設け、全校児童で本の紹介カードを書き、読み合うことで読書への興味関心を高めるようにする。 	

取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協同した教育の推進】

保護者や地域との交流を深め、地域の一員としての自覚を高めるとともに、学校の様子をより理解してもらえるよう情報発信の仕方を工夫する（ ）

指標

○地域との交流を行う。

・読み聞かせ・昔あそび・収穫祭・おももパーティー・ステンシル体験等

○学校だよりを地域で回覧してもらう。

○学校ホームページで情報を発信する。

・学校ホームページの閲覧数を1週間で100以上にする。

・学校だより・学年だよりを学校ホームページで閲覧できるようにする。

○学校からの配布プリントをミマモルメで配信し、保護者が必要な時に閲覧できるようにする。

○地域とのボランティア活動(縦割り班清掃・地域清掃など)を実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

【取組内容】①について

【取組内容】②について

【取組内容】③について

次年度への改善点

【目標設定】について

【取組内容】①について

【取組内容】②について

【取組内容】③について